

ナシのナシヒメシンクイが平年より多く発生しています

8月上旬の防除を確実に実施してください

[現在の状況]

7月下旬現在, ナシヒメシンクイのフェロモントラップ(笠間市)への誘殺数は, 平年より多い(図1)

例年被害がほとんど認められない7月下旬調査において, 被害果が確認された。

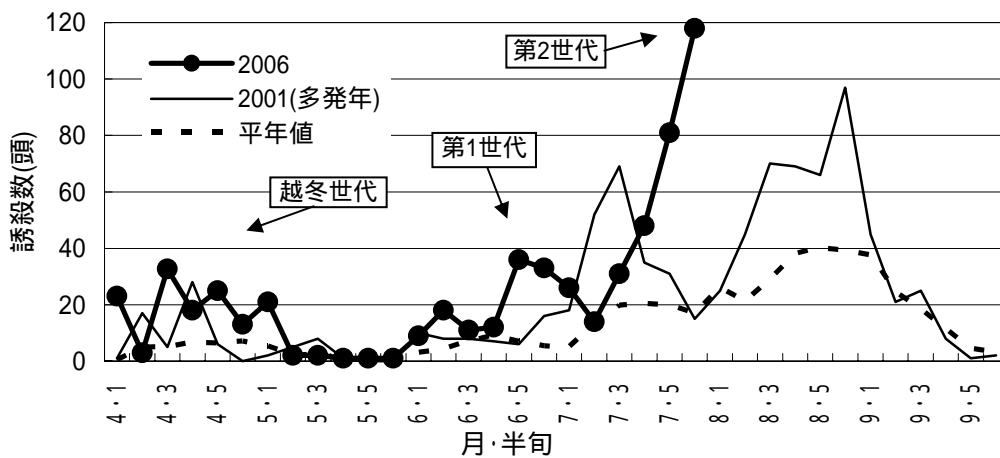


図1 フェロモントラップによるナシヒメシンクイ雄成虫の発生消長 (笠間市)

[防除対策]

第3世代幼虫の防除適期は8月上旬であるので, 防除暦に従ってスカウトフロアブルによる薬剤防除を確実に実施する。

発生の多い圃場では, 「幸水」収穫終了後に「豊水」や「新高」等を対象に薬剤散布を実施する(表1参照)。

「豊水」や「新高」への加害を防ぐため, 被害果は土中深く埋めるなど速やかに処分する。

周囲への飛散(ドリフト)に十分注意した散布方法で防除を行う。

表1 ナシのシンクイムシ類に登録のある主な薬剤 (平成18年7月26日現在)

薬剤名	希釈倍数	使用時期 - 使用回数	有効成分 - 有効成分の総使用回数
スカウトフロアブル	2,000	収穫前日 - 5	トラロメトリン - 5
アディオン乳剤	2,000~3,000	収穫前日 - 2	ペルメトリン - 2
ロディエ水和剤	1,000~1,500	収穫前日 - 2	フェンプロパトリン - 2
スタークル顆粒水溶剤	2,000	収穫前日 - 3	ジノフラフ - 3

農薬を使用する際は, 農薬ラベルに記載の使用方法, 注意事項等を確認のうえ使用してください。